

(お知らせ)

地震発生後のプラント状況について（午後 9 時 35 分現在、第二報・最終報）

平成 24 年 12 月 7 日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

平成 24 年 12 月 7 日、午後 5 時 18 分頃に発生した地震をうけて、各プラントの点検を行った結果、異常は確認されませんでした。

なお、1 号機において、原子炉建屋内を外気に対して負圧に維持しておりましたが、正圧になったため、運転員の判断により非常用ガス処理系*を起動させました。

非常用ガス処理系の起動直後に、0.05 キロパスカル程度まで上昇したことを確認しました。

現在、原子炉建屋内と外気との差圧は、安定して負圧を維持しております。

今後、原子炉建屋内と外気との差圧が正圧となった原因について調査します。

なお、発電所の敷地境界に設置しているモニタリングポストにおける指示値は、本地震の前後において通常の変動範囲であり、現時点において本地震による外部への放射能の影響は確認されておられません。

* 非常用ガス処理系

原子炉建屋内の空気を高性能のフィルタで浄化して排気筒より放出する系統で、(A)、(B) の 2 系列ある。

以 上